

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 横浜市立東市ヶ尾小学校

① 学習指導案

② プログラム	No. 5 「地域カルタをつくろう」
単元名 (全50時間)	まちかるたで、東市ヶ尾の素敵なところを伝えよう
学習のねらい	東市ヶ尾のまちカルタを作つて遊ぶ活動を通して、東市ヶ尾のまちには今まで気が付かなかつたようなよさがもっとあることに気付き、東市ヶ尾のまちに関わる人の思いや願いを考えるとともに、進んで東市ヶ尾のまちや、まちの人と関わり、自分たちのまちを大切にしようとする意識を高める。
学習内容	1 まちに出て、素敵なところを確かめながら新たな発見をする。 2 地域のよさや特徴を考える。 3 地域カルタを作る。 4 カルタ遊びを通してまちのすてきなところを伝える。
参考資料 準備品 実施場所等	参考資料：今すぐ使える！景観を切り口にまちに出よう！ 発見！わたしたちのまちの大好きなまち 準備品：タブレット一人一台・探検バック・地域の地図・学習カード 見本となるカルタ 実施場所：学校の周辺

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
6	「わたしたちのまちを見つめよう」 自分たちのまちを探検し、まちを歩きながら自分のおすすめの景観をタブレットに収める。 活動全体について知り、学習計画を立てる。	国語のアップヒルーズで学習したこと思い出させ、写真を撮ることに意欲をもてるようにする。 学習計画を立て、活動の見通しがもてるようになる。	・学習活動の計画を立て、見通しをもてている。 まちのよさを地域カルタに表していくこうという意欲をもっている。
2	「プロの写真家に教えてもらおう。」	おすすめの景観をより伝えやすく撮影する技術について、しっかり話を聞いて考えられるようになる。	効果的な写真の取り方について理解している。
10	「地域の人に取材をしよう！」	多くの方に楽しんでもらうカルタにするためにまちのどの場所	グループの友達と協力して活動

	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート作り ・アンケート 	<p>が好きか、どうして好きか等のアンケートをとる機会を設定する。</p> <p>何のために、何を尋ねるか明確にして、地域の人と関わるようになる。</p>	<p>している。</p> <p>取材場所や人に礼儀正しくし、感謝の気持ちをもっている。</p>
17	<p>「東市ヶ尾のまちの魅力が伝わるカルタを作ろう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちのよさがテーマのカルタをつくるにはどうしたらよいか考える。 ・まちの人々の思いについて考える。 	<p>「まちの方も自分たちも満足できる」という観点から、まちの方々も自分たちもカルタに載せるべきと考える写真を決めるように助言する。</p> <p>再びその場所に行って諸感覚を駆使してその場のよさを感じたりまちの方々にとったアンケートからキーワードを探したりして、文章化できるようにしていく。</p>	<p>まちのよさが伝わるよう、わかりやすく表現している。</p>
15	「カルタ大会を開いて、東市ヶ尾のまちの魅力を広めよう！」	作ったカルタをコミュニケーションツールにして、まちのさまざまな施設に出向いて多くの方々とカルタを通して交流できるようにする。	自分から進んで町の人と関わっている。

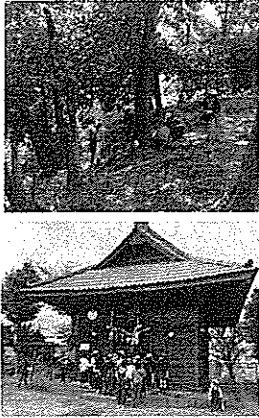
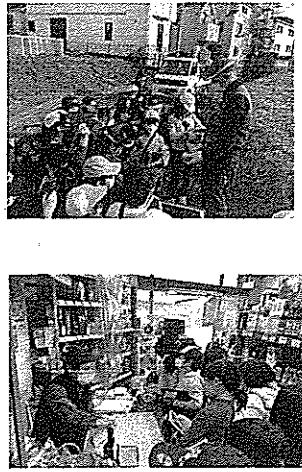
<留意点>

相手意識・目的意識を明確にして、取り組むようとする。

撮影時は、安全に十分気を付ける。

③ 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立東市ヶ尾小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
6	教室 地域	学習計画を立てる。 まちでよく行く場所や おすすめの場所を紹介 し合う。 調べたい場所や調べた いことを話し合い、タブ レットを持って、探検に 出る。		このまちのいいところはやっぱり公園かな。 3年生の時は、コロナの影響でまちにでることがあまりできなかったからまちたんけんをするのが楽しみ。 出会った人がたくさん声をかけてくれた。 こんな場所があったんだ。 素敵だから、写真におさめよう。
10	地域 教室	地域の人に取材をし よう！ お店の人や地域にくわしい人にインタビ ューする。 まちたんけんで気付 いたことを共有する。		・このまちは、以前は店や建物はほとんどなかったことに驚いた。 ・地域の人が柿の木のことについて教えてくれたよ。物知りだな。 ・ここのお店の和菓子がおいしく有名なのは、社長さんが修行を積んできたからだね。 ・店の人が大切にしていることを店名にしていることを知ったよ。
20	教室	「東市ヶ尾のまちの魅 力が伝わるカルタを作 ろう！」 かるた大会に向けて どんな準備が必要か 話し合う。 (スケジュールの確 認かるたづくりの役 割分担など) グループに分かれて かるたづくりをする。 (ロイロノート活用)		グループに分かれてカルタを作 るのが効率的だと思うよ。 どの写真や言葉ならまちのよさ が伝わるかな。 この写真は使いたいよね！ 伝えたいことを短い言葉にまと めるのは難しいな。 写真や言葉の意味を絵札の裏に 載せたら、ぼくたちの思いが伝わ るんじゃないかな！

		川柳の専門家に、言葉の表現について教わり、助言をもらい、自分たちのかるたを見直す。		学んだことを生かしたら、伝えたい言葉になったよ。 言葉の言い回しによって印象が変わるな。
2	ホール	「カルタ大会を開いて、東市ヶ尾のまちの魅力を広めよう！」 授業参観でお家の人とカルタをする。 よかった点や改善点を言ってもらう。 カルタ大会を振り返ってよかったところと改善点を話し合う。	 	お家人とカルタを楽しんでもらえたし、魅力を伝えることができてよかったです。 同じようなカルタが多いのと、文字が見えにくいというアドバイスをもらったから修正したほうがいいな。
13		「カルタを改良しよう！」 再びまちに出て、取材をする。 材料をもとにカルタを作り直す。		新たな発見があったからそれをカルタにしたいな。 この言葉よりこっちの言葉の方がより魅力が伝わる気がする。 こっちの写真に変えたらどうかな。
5	ホール 教室	「カルタ大会を開いて、東市ヶ尾のまちの魅力を広めよう！」 登下校を見守ってくれている地域の方を招待してカルタ大会をする。 他のクラスの友達とカルタ大会をする。 学習を振り返る	 	<ul style="list-style-type: none"> ・カルタづくりは大変だったけど、いろいろな人にまちの魅力を知ってもらえて嬉しかった。 ・カルタづくりを通して、地域の魅力に気付けたし、地域の人と仲良くなれた。 ・みんなで力を合わせて試行錯誤して作り上げることができて楽しい学習だった。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・登下校を見守ってくれている人やお店の人など、地域の人とつながるようにした。
- ・一人一台タブレットを持ってまちに出たことにより、それぞれ思い思いの写真を撮ることができた。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・まちに出るにあたって、時間割や見守り支援員の調整、天候などが影響し、計画通りに活動が進められなかった。
- ・かるたづくりの役割分担など、どのように仕上げていくか迷った。
- ・8グループ分作成したので、印刷が大変だった。

(3) 児童の反応

- ・知らなかつたまちの特徴やよさに気付くことができた。知っていた場所でも、新たな発見をする姿が見られた。
- ・地域の魅力を発見する活動を通して、より愛着をもつようになった。
- ・カルタづくりに楽しみながら取り組んでいた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・まちの魅力について気付くことができた。
- ・まちの人とのつながりができた。
- ・地域学習の取り組みの幅が広がった。

(5) 今後の課題と取り組み【児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等】

- ・もっと早い時期から活動に取り掛かったほうが、より充実した学習になった。
- ・多様な視点を取り入れるためにも、地域住民にアンケートを取る活動などを行うことが有効。